

[ホーム](#) > [フォーラム/セミナーの報告](#) > [フォーラム](#)

静岡県／平成23年度医療安全管理シンポジウム(中部地区)報告

「手術安全チェックリスト」の取り組み報告で課題が明確に

[プログラム・講師プロフィール](#)

静岡県病院協会医療事故防止部会部会員
JA静岡厚生連静岡厚生病院院長 玉内登志雄

平成24年1月20日(金)、静岡県病院協会医療事故防止部会が毎年主催している医療安全シンポジウム(中部開催)が静岡県男女共同参画センターで開催された。県内33施設・団体等から医療関係者計13名の参加があった。

「WHO安全な手術のためのガイドライン2009」の日本語訳をした新潟県立六日町病院麻酔科部長、市川高夫氏から「WHOの患者安全への挑戦」と題した基調講演があった。安全な手術のための10の必須目標は手術安全チェックリストとして編集され、「手術安全チェックリストの実施が病院、施設等における有害事象の減少に関連していることは明らかである。また手術安全チェックリストの実施は手術チームのコミュニケーションを円滑に図るツールとなり、安全文化の推進に繋がる。WHO指針の実行にあたり管理者を含め各科のトップの理解が必須である」ことを強調した。

続いて今回のテーマである「安全な手術—WHO指針の実践」に対し4病院から取り組み報告があった。

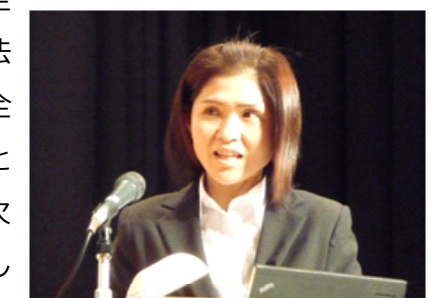
JA静岡厚生連静岡厚生病院、清野喜久子先生から「WHO手術安全チェックリスクからみる当院手術室の現状と課題」と題し、現状方法でエラーがないことや、知っている者同士の自己紹介など、「手術安全チェックリスト」の重要性は認識していても徹底できない点を課題とした。講師から、自己紹介は円滑なコミュニケーションのためには欠かせないものであること、「手術安全チェックリスト」は実施記録として保管する必要性との助言があった。



座長 JA静岡厚生連静岡厚生病院
玉内登志雄氏



新潟県立六日町病院
市川高夫氏



JA静岡厚生連静岡厚生病院
清野喜久子氏



いのちをまもる
PARTNERS
医療安全全国共同行動

焼津市立総合病院、八木洋子先生は平成19年2月患者誤認・手術部位誤認防止対策としてタイムアウトを導入、平成23年4月「手術安全チェックリスト」を参考にしたチェックリストを作成し、安全対策の実施に至る経緯を報告。今後チェックリストの見直しや主導者育成、情報の共有方法など検討する。



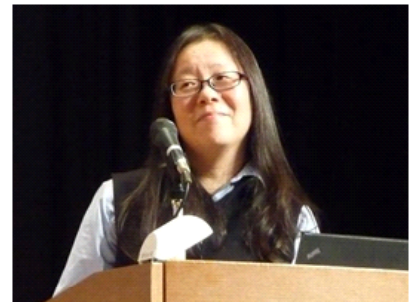
焼津市立総合病院
八木洋子氏

市立島田市民病院、播岡徳也先生は「手術安全チェックリスト」の作成に至るまでの経緯、「手術安全チェックリスト」の使用が契機となり、術前チェックリストの作成やハイリスク症例検討委員会の設置など、関係職員の安全な手術に対する意識改革に繋がったとの報告があった。



市立島田市民病院
播岡徳也氏

静岡県立総合病院、海野千歩子先生は平成22年3月にチェックリストを導入、翌月実施状況を把握する目的で手術室看護師を対象とした調査を開始した。未実施項目および要因を明らかにし、今後実施率向上に向け新たな取り組みを行う。チェック表の導入は医療者間の情報共有ツールとなり、インシデントの減少に繋がったと結んだ。



静岡県立総合病院
海野千歩子氏

(文責 JA静岡厚生連静岡厚生病院 小幡久子)



*シンポジウムの発表の概要は「[病院の活動紹介](#)」(目標Sの項)に掲載しています。